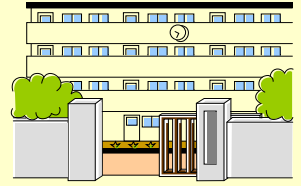


地域創生に向けた高校魅力化の手引

～高校と地域の連携・協働を進めるために～

北海道教育庁学校教育局高校教育課（令和2年（2020年）12月）

本道が将来にわたって輝き続けていくためには、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという理念の下、学校と地域の連携を深め、情報を共有するとともに、協働して地域の人材を育成することが重要です。そのためには、地域創生の観点からも、地域と連携・協働し、生徒から選ばれる魅力ある高校づくりを推進する必要があります。その参考となる資料として、「地域創生に向けた高校魅力化の手引～高校と地域の連携・協働を進めるために～」を作成しました。



1 手引の構成等 【2～3ページ（第1章）】

本手引は、国における地方創生の施策の方向性や、北海道総合教育大綱、北海道教育推進計画、第2期北海道創生総合戦略を踏まえ、地域創生に向けて高等学校の果たす役割や、本道における高校の魅力化の具体的な取組例を示すものです。

なお、手引本体については、右にあるQRコードからアクセスすることができます。

【主な取組期間】

令和2年度～令和4年度
※本期間後も引き続き取組を推進する予定

【対象】

道立高等学校及び道立中等教育学校
※市町村立高等学校も、取組の参考とすることを期待

【構成】

第1部 解説編

作成趣旨や現状・課題、地域創生に向けた高校の魅力化の基本的な考え方を説明

第2部 実践編

推進体制の構築や具体的な取組内容、取組の推進の方向性などを説明

参考資料

地域創生に向けた高校の魅力化を検討する際に参考となる資料を掲載

<目次>

第1部 解説編

第1章 手引の作成について

- 1 手引作成の趣旨
- 2 手引の主な取組期間
- 3 手引の対象
- 4 手引の構成

第2章 地域創生に向けた高校の魅力化

- 1 地域創生をめぐる現状と課題
- 2 子どもたちの教育環境を取り巻く現状と課題
- 3 学校と地域の連携・協働の必要性
- 4 地域創生に向けた高校の魅力化の基本的な考え方

第2部 実践編

第3章 学校と地域の連携・協働の在り方

- 1 目指すべき姿
- 2 推進体制の構築

第4章 高校の魅力化に関する具体的な取組

- 1 学校の状況や課題、地域の要望等の把握
- 2 多様な進路を実現するための学びの保障
- 3 地域を学びの場とした教育活動の推進
- 4 教育環境の整備
- 5 取組の情報発信及び検証・改善

第5章 取組の推進

- 1 推進の流れ
- 2 推進体制の構築の方向性
- 3 高校の魅力化に関する具体的な取組の方向性

参考資料（参考1～参考35）



2 現状と課題、学校と地域の連携・協働の必要性 【4～8ページ（第2章）】

これからの時代を生き抜く力を育成するという観点からも、地域創生という観点からも、学校と地域が連携・協働することが不可欠です。学校と地域は、お互いの役割を認識しつつ、共有した目標に向かって、パートナーとして相互に連携・協働していくことが重要です。

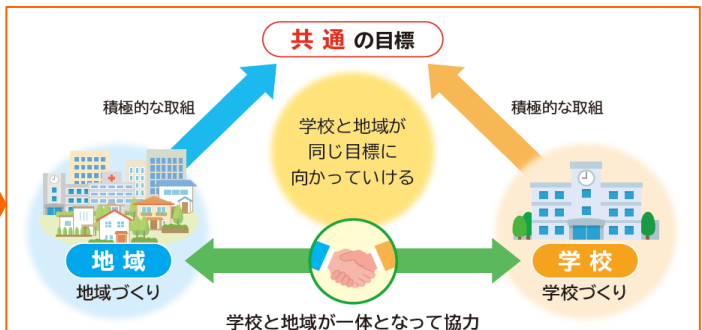
現状と課題

地域創生をめぐる現状と課題

- ・人口減少・少子高齢化
- ・都市部への人口流出
- ・地域を支える人材の確保

子どもの教育環境を取り巻く現状と課題

- ・中学校卒業業者数の減少及び高等学校の配置状況
- ・地域社会の教育力の低下
- ・学校が抱える課題の複雑化・困難化等の状況
- ・情報化やグローバル化の進展



3 地域創生に向けた高校の魅力化の基本的な考え方 【9～10ページ（第2章）】

「高校の魅力化」については、様々な捉え方があると考えられますが、生徒にとって魅力的であることが大前提です。本手引では、地域創生に向けた高校の魅力化であることを踏まえ、「高校の魅力化」を次のとおり考えます。なお、具体的な取組を検討する際、次の3つの事項に留意する必要があります。

本手引における「高校の魅力化」

「高校の魅力化」とは、生徒や学校、地域の実態を踏まえ、地域と連携・協働して、社会の変化や生徒の多様な学習ニーズに対応した教育活動を展開することにより、生徒の自己実現に寄与することができる高校づくりを推進し、生徒から選ばれる学校になること

生徒や保護者にとっての高校の魅力化

- どの地域においても、大学進学や就職など多様な進路希望を実現できるとともに、保護者も安心して進学させることができる高等学校になること
- 生徒の興味・関心や多様な進路希望に応じた教育課程
 - 望ましい勤労観や職業観を育むためのキャリア教育の充実
 - 個に応じた学習機会の確保
 - 部活動等、課外活動の充実

地域にとっての高校の魅力化

- 地域と高等学校が相互に連携・協働しながら、地域づくりのパートナーとして位置付けられるようになること
- 地域を理解し、地域の将来を担う人材の育成
 - 生徒が地域社会の構成員の一員として、地域課題を主体的に探究する資質・能力の育成
 - 地域が高等学校をより深く理解し、地域ぐるみで子どもを育てることができる仕組みづくり

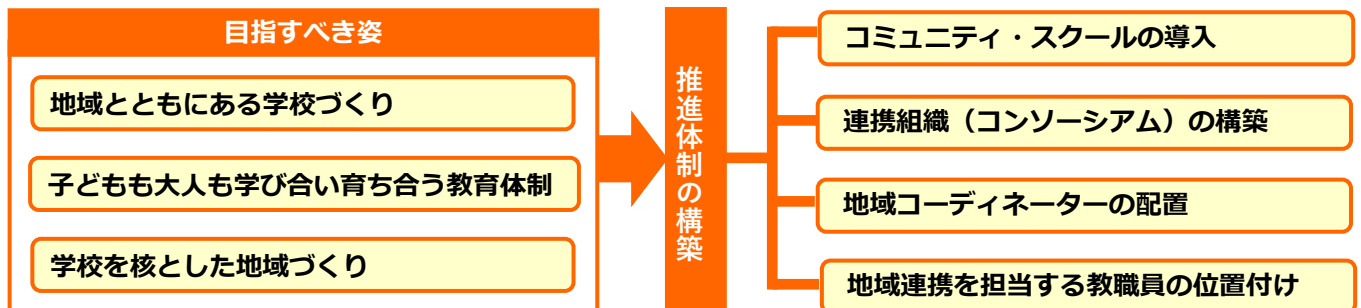
地域創生に向けた高校の魅力化に係る具体的な取組を検討する際の留意点

- ① どの高等学校においても確実に効果があるといった取組はなく、生徒や学校、地域の実態に応じて違いが生じること。
- ② 高等学校の存在意義を地域創生のみで特化せず、生徒の自己実現に向け、学校と地域は何かができるかという視点を常に持ち続け、生徒の学びの充実に取り組み、その学びを通して地域創生が実現されること。
- ③ 取組を推進する上で、生徒の安定的な確保も課題として挙げることができ、選ばれる学校となるため、生徒が都市部や近隣校等に求めているニーズ等を把握し、高校の魅力化を図ることが急務であること。

4 学校と地域の連携・協働の在り方 【12～14ページ（第3章）】

高校の魅力化を推進するためには、学校と地域が連携・協働することが必要です。この学校と地域が連携・協働するに当たっての目指すべき姿として、「地域とともにある学校づくり」、「子どもも大人も学び合い育ち合う教育体制」、「学校を核とした地域づくり」の3つを挙げることができます。

この目指すべき姿を具現化するためには、学校と地域の双方で、連携・協働するための組織的・継続的な仕組みを構築することが必要です。各学校は、学校の実態や地域の特性に応じて、仕組みを適宜選択し、推進体制を構築することが重要です。



5 高校の魅力化に関する具体的な取組 【15～22ページ（第4章）】

具体的な取組を検討する前に、各学校の置かれている状況や課題、地域の要望を把握することが必要です。把握した状況や課題・要望を踏まえ、魅力化の方策を検討するという手順を踏むことが重要です。



① 学校の状況や課題・地域の要望等の把握

各学校は、各種調査結果等のデータに基づき、生徒の姿や学校及び地域の現状を把握するとともに、アンケート調査や各種会議の機会を活用し、保護者や地域住民等の意向等を把握する必要があります。

把握後、魅力化の方向性を検討し、決定した方向性に基づき、「多様な進路を実現するための学びの保障」及び「地域を学びの場とした教育活動の推進」について、具体的な取組を検討

②

多様な進路を実現するための学びの保障

生徒の興味・関心や多様な進路に応じた教育課程等の編成・実施

- 多様な選択科目を開設するなど生徒の学習ニーズに対応した教育課程の編成
- 習熟度別授業・少人数授業等のきめ細かな指導の充実
- 地域の人材を活用した専門性の高い特色ある教科・科目等の開設

小・中・高等学校等の学びの接続

- 国語・数学（算数）・英語などの地域における学びのスタンダードの作成
- 小・中・高等学校の教員が連携した学力定着に向けた取組の実施
- 高大接続の取組の推進

課外における学習機会の確保

- 課外における学習時間の確保
- 地域人材等の活用による高校生を含む地域住民向けの課外講座等の実施

地域と連携した部活動の実施

- 地域人材等を活用した部活動の実施
- 中学校と高等学校が連携した部活動の実施
- 地域の特性を踏まえ、近隣の高等学校が連携した部活動の実施
- 社会教育の一環としての部活動の実施

③

地域を学びの場とした教育活動の推進

地域課題探究型の学習活動の推進

- 地域創生やSDGsの観点からの探究活動の実施
- 都市部における地域創生やSDGsからの探究活動の実施
- 総合的な探究の時間と小・中学校の総合的な学習の時間等との学びの接続

地域の企業等と連携したキャリア教育の充実

- 地域人材を活用したキャリア教育の推進
- デュアルシステム等による職業教育の充実

地域の人材等の活用や異年齢集団での活動の推進

- 地域の専門家を「ふるさと先生」として活用する取組
- 地域や小・中学校と連携した教育活動や奉仕活動等の実施

地域の特性や学びの場の確保

- 地域の自然環境や観光資源を活用した学びの構築
- 地域の博物館等の教育施設の活用や地域の教育セミナー等への参加
- 生徒と地域の方々が学ぶ講座等の実施

道外からの入学者や地域留学の受入れ

④ 教育環境の整備

Society5.0とも呼ばれる新しい時代の到来や、情報化・グローバル化が進展する社会における加速度的な変化に対応するためには、ICT環境の整備等を行う必要があります。

ICT環境等の整備

- 校内通信ネットワークの整備など必要なICT環境の整備
- 「ICT活用授業指針」に基づいた取組の促進
- 生徒1人1台の学習用コンピュータ環境の実現に向けた取組

小規模校の教育課程の充実を図る遠隔システムの導入

- (仮称)北海道高等学校遠隔授業配信センターの開設(令和3年度～)
- 地域連携特例校や離島にある道立高等学校への遠隔授業の配信

⑤ 取組の情報発信及び検証・改善

②③で検討した高校の魅力化に関する取組をさらに充実させるためには、自校で行われている取組について地域住民等の理解を深める必要があり、積極的に情報発信することが重要です。

また、①に戻り、取組の検証・改善を行うことで、さらなる魅力化を図ることが重要です。

6 取組の推進 [23～24ページ (第5章)]

令和2年度 (2020年度)

- 本手引の周知期間
- 各学校は高校の魅力化の取組の方向性を検討し、取組可能なものから実施
- 次年度からの本格実施に向け、校内体制等を整備し、具体的な計画を立案する期間

令和3年度 (2021年度)

- 全ての高等学校で魅力化の取組を実施
- 北海道教育委員会の取組
 - ・ 各学校の取組の改善・充実のため、取組状況の把握
 - ・ 実践事例を集約した資料の作成・配布

令和4年度 (2022年度)

- 前年度までの取組の検証
- 取組の充実が求められる高等学校等に対し、関係教育局による学校訪問等を通して、改善に向けた指導助言・支援の実施

推進体制の構築・高校の魅力化に関する具体的な取組の方向性

第3章の「推進体制の構築」及び第4章の「高校の魅力化に関する具体的な取組」の各項目について、学校規模等を勘案して学校を4つに分類し、それぞれについて取組の方向性を提示。

(学校の分類) 地域連携特例校、第1学年3学級以下の小規模校、
第1学年4学級以上の職業学科併置校、それ以外の学校

(方向性の分類) ◎：取り組む、◇：努める、▲：地域や学校の実態を踏まえて検討する

7 参考資料 [25～91ページ]

<参考資料掲載一覧>

- (参考1) まち・ひと・しごと創生基本方針、まち・ひと・しごと創生総合戦略
- (参考2) 第2期北海道創生総合戦略、北海道総合教育大綱、北海道教育推進計画
- (参考3) 社会や地域に関する意識の状況 (全国)
- (参考4) 生涯学習に関する住民の意識調査 (北海道)
- (参考5) コミュニティ・スクールをはじめとした地域とともにある学校づくりの魅力
- (参考6) 課題把握のためのアンケート調査の例
- (参考7) 小規模校の特色化・魅力化に向けた課題
- (参考8) 高校の魅力化を図るための方策例
- (参考9) 高校の魅力化を目的としたワークショップの実践例
- (参考10) コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度) 【別海高校、興部高校、追分高校、美瑛高校】
- (参考11) 地域学校協働活動
- (参考12) 地域コーディネーター 【上士幌高校、白糖高校】
- (参考13) 小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業 (H27～H29)
- (参考14) 高等学校OPENプロジェクト (H30～R2) 【帯広工業高校、標茶高校、白老東高校、静内農業高校】
- (参考15) 北海道高等学校「高校生対流促進事業」(R2～R6) 【鶴川高校、斜里高校、幌加内高校】
- (参考16) 学校を核とした地域づくり 【鹿追高校】
- (参考17) 生徒の興味・関心や多様な進路に応じた学校設定科目の開設
【岩内高校、礼文高校、江差高校、追分高校、釧路明輝高校、砂川高校、富良野高校】
- (参考18) 地域における学びのスタンダードの作成 【知内町、天塩町】
- (参考19) 小・中・高等学校の教職員や児童生徒が連携した教育活動 【礼文町、蘭越町、湧別町】
- (参考20) アカデミック・インターンシップ 【札幌西高校、大麻高校、旭川永嶺高校】
- (参考21) 大学と連携した研究活動 【岩見沢東高校】
- (参考22) 北海道の学校開放の状況 【美深高校】
- (参考23) 地域と連携した部活動 【むかわ町、下川町、札幌東商業高校】
- (参考24) 複数校合同部活動
- (参考25) 持続可能な開発目標 (SDGs)
- (参考26) 地域ビジネス創出事業 (SBP) 【留萌高校】
- (参考27) 地域を学びの場とした教育活動 【浦河高校】
- (参考28) 市町村と連携した高校生対象の地域づくりの取組 【鷹栖町、岩内町、大樹町、稚内市、苫前町、旭川市】
- (参考29) 地域課題をテーマとした探究的な学び (総合的な探究の時間、特別活動)
【札幌東高校、本別高校、函館西高校、長万部高校、湧別高校、枝幸高校、奥尻高校】
- (参考30) 学校設定科目「地域学」 【鶴川高校、津別高校、松前高校、稚内高校、上士幌高校】
- (参考31) 12年間を見通したふるさと教育やキャリア教育 【栗山町、寿都町】
- (参考32) キャリア・パスポート 【栗山高校】
- (参考33) デュアルシステム 【旭川工業高校、静内農業高校】
- (参考34) 地域の教育資源や地域人材等を活用した教育活動や奉仕活動等
【羅臼高校、上富良野高校、静内高校、標津高校、当別高校、虻田高校、檜山管内、富良野緑峰高校、新十津川農業高校、芦別高校、北広島西高校、砂川高校】
- (参考35) 遠隔授業の3類型

(注) 道内の取組事例を掲載している場合、該当市町村又は学校名を【 】内に記載